

川端 宏和



公約ありきで物事を進めるな!!

町長

十分検討協議を重ねて対応していく

質問 平成28年第1回臨時会で、町長から所信表明があったが、次の点についてどのような構想を持っているかを問う。まず、児童館の有効利用の具体策は。

答弁 町長 可能な限り地域に開放し、地域の方々との交流を推進する。

質問 小学生の給食費半額補助の考え方を伺う。

答弁 町長 町の活性化を図る重要な施策の一つとして、子育て世代の方が期待を持って玉村町へ転入していただきたいとの考えである。

質問 シニアタウン誘致の効果は。

答弁 町長 人口移住、関連産業や雇用の創出、ICT（情報通信技術）の活用による教育、医療介護、福祉などの公共分野への貢献、多世代交流などを一体的に進めることができる効果がある。



赤字解消を狙う、道の駅 玉村宿

質問 道の駅玉村宿の赤字解消の方法は。

答弁 町長 売り上げの落ちた時期は、強化期間として、イベントやフェアの開催、広告宣伝の強化、また販売商品や食堂メニューなどは、季節に合わせた限定商品などを展開することで、内容に変化をつけ消費拡大につなげたい。

質問 義務教育課程を3学期制へ移行したいとのことだが。

答弁 町長 十分検討を重ね、時間をかけ、玉村町の子どもたちの学期制を考えていく。

質問 町の財政状況が危機的とのことだが、解決策は。

答弁 町長 経常経費の抑制に努め、安定的な財源を確保していくことが必要。

質問 不必要な道路新設の中止とは。

答弁 町長 齊田上之手線以北の町道2077号線は、小学生の通学路の安全対策を進める方向で考え、現在の道路に歩道をつけ整備を図る。前年度新設予定だった道路予算は中止となる。

こんな質問もしています

・町政刷新について

※5ページ参照  
シニアタウンの実現に積極的に取り組み

町田 宗宏



町長

玉村町に見合ったシニアタウンの実現に努める

質問 シニアタウンの構想づくりから実現までの間には幾多の困難が予想されるが、これが実現すれば玉村町創生の事業として大きな効果が期待できる。積極的に取り組んでいただきたい。

答弁 町長 シニアタウンの導入によって、東京圏等からの人口の移転、関連産業や雇用の創出、情報通信技術の活用、多世代交流などを一体的に進めることができるメリットがあるので、積極的に取り組んでいきたい。

質問 小中学校の学期制を早期に3学期制に戻せ

質問 県内の小中学校で2学期制であった市町村は、玉村町を除いてすべて3学期制に戻した。玉村町も早期に3学期制に戻したらどうか。

答弁 教育長 学期制の検討に当たっては、学校の主体である児童生徒及び教師、保護

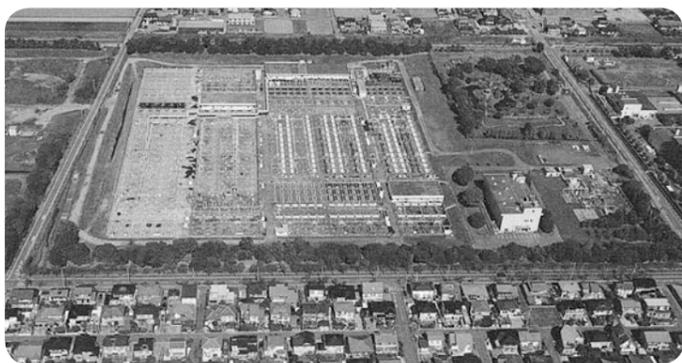
者や地域の方々、さらには有識者など幅広く考えや意見を聞きながら、現行の学期制の成果

そして問題点を明らかにし、今後の方向性を示す上でも学期制検討委員会（仮称）で調査・検討を重ねていくことが大切であると考えている。その上で、玉村町の子どものための学期制にしていきたい。

質問 県央水質浄化センターの有効活用について問う

質問 国土交通省は「BIST R.O下水道推進戦略チーム」を設置し、下水道の有効活用について研究し、成果を上げている。玉村町も県や国と連携して、県央水質浄化センターの有効活用について検討したらどうか。

答弁 町長 2月の監視体制機構（玉村町）の委員会で、県から県央水質浄化センターの有効活用について前向きに検討したいとの発言があった。玉村



有効活用が期待される県央水質浄化センター全景

町も利根川上流域下水道（県央処理区）事業調査研究委員会と協議を重ねながら、検討していきたい。